

九州地域における産地直結を主体とした有機農産物流通の実態と課題

第1報 生協産直の実態

野見山敏雄 (福岡県農業総合試験場)

Toshio NOMIYAMA: Problems of Direct Trade between Farm Producers and Consumers of Organic Farming Products in Kyusyu District

1. Distribution Channel of Consumer's Cooperative

1. はじめに

本研究は有機農業を実践している農家や産地に対して経営改善策を提示することを目的としている。著者は、九州地域で有機農業に取り組んでいる農協やグループを対象に、産地直結を主体とした有機農産物流通の現状と問題点について検討しており、本稿ではまず、生協が介在する有機農産物流通の実態と課題について報告する。

なお、ここでいう有機農産物とは、「健康的で味の良い農産物を生産するために、生態系の物質循環と生命循環の原理に立脚しつつ生産力を維持する農法で生産した農産物」と定義し、その生産過程においては化学肥料や農薬の投与は可能な限り抑制されている。

2. 生協産直の流通機構

生協における農産物の産地直結の意義としては①中間利潤を削減し、消費者価格の低減と安定など経済的メリットの追求、②農産物の安全性や鮮度、味の良さなど使用価値の保証と追及の2点があり、生協設立の歴史や展開過程の違いによって両者のウエイトは異なる。特に、青果物は商品的特性から産地直結の実現が難しいため、生協間の取り組みの違いはより鮮明である。

ここでは、青果物を扱う生協の流通機構の実態を、具体的な2事例をとりあげて比較検討する。

A生協は九州・山口で活動する26の単位生協を会員とする生協の連合組織である。総組合員数は177千人、供給高は328億円(1988年度)である。資源保護や環境汚染などの問題に積極的に取り組んでおり、「こだわり派」が多い生協である。共同購入組織は歴史や生い立ちによって3ブロックに分けられている。流通機構の特徴としては、遠隔地の青果物や追熟が必要な果実は仲卸業者や商社を経由するが、その他の青果物は経済連や卸売会社の経路なしでピッキングセンター(荷捌き所)に出荷されることである。

B生協は福岡県を範囲とする九州1位の大規模生協であり、組合員数は24万人、供給高は520億円(1989年度)である。B生協の場合、組合員数が多く一括した青果物の仕入れを行っており、生産量と注文量のギャップが生じやすいが、その解消のために園芸連・経済連・全農などの系統農協組織や卸売会社等が介在した多段階的な流通機構となっている。商品の使用価値よりも安定供給を重視した流通機構が特徴的である。

3. 産地(農協)の市場対応と生協取引の問題

生協と取引を行っている宮崎県綾町農協、熊本県清和村農協、大分県下郷農協の調査から、生協産直における

問題点を整理した。

1) 市場対応の多様化

下郷農協は1963年以来産地直結を続けており、取引先数も多く、エノキダケの外に卸売市場出荷はないのに対して、有機農業の取組みが7~10年と短い綾町農協と清和村農協は主要な取引先がA生協のみで、その割合も1~2割と低く、卸売市場出荷が基軸になっている。3農協とも都市部に農協直営の直売所を設置したりして、新しい市場対応を模索しているところである。

2) 生産量と注文量のギャップ

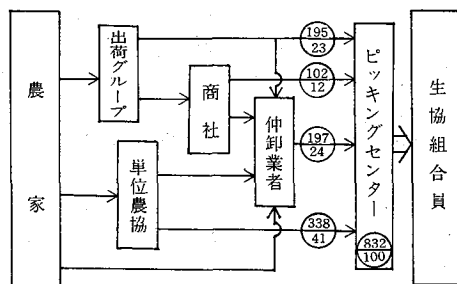
青果物は天候によって生産量の多寡が生じやすく、需要と供給のギャップ解消のために、生産者側が契約量よりも多めに生産したり、過剰生産物は卸売市場に出荷するなどの危険負担をしている。

3) 調製作業(小袋包装)の複雑性

殆どの青果物の場合、小袋包装は農家段階で行われており、収穫最盛期には、その調製作業を夜間まで延長している。生産者価格には調製作業の労賃も含まれて計算されているが、労働過重にならないように配慮が必要である。

4. おわりに

九州地域で有機農業に取り組んでいる農協と生協との産地直結の実態から、次の2点が今後の課題としてあげられた。第1は生産と消費の「距離」の短縮である。地域・地場の農産物が取引されるには地理的・時間的な距離が短い方が望ましく、生産者と消費者の交流も頻繁に行いやすい。第2は生協や農協が産地直結に介在することで、有機農産物の使用価値のレベルダウンが惹き起されやすいが、その際、技術未熟者を排除するのではなく、全体的な技術向上を目指すことが農協・生協の両者に求められる。



第1図 A生協(Kブロック)における青果物の流通機構
注) ① 〇の上段は取扱高(単位100万円), 下段は構成比(%)を示す。
② 1989年4月~'90年3月の仕入実績から作成